

港南造形タイムズ

第26号

ホンモノの凄さを垣間見る！

7月12日(火)に本校で京都造形芸術大学の福のり子先生の講演会を開催しました。インディペンダント・キュレーターとして、国内外の美術館を舞台に活動されている福先生は、まさに世界の第一線で活躍されているフロントランナーです。

『アートを媒介にして人々が集う豊かなコミュニティの創造』をテーマに、途中で高橋孝壽先生の顔写真が登場したり、話が恋愛論に脱線したりと、何が飛び出すのかわからない講演で、1時間半が「あっ」という間に経過しました。



「たった1時間半で!？」と突っ込まれそうなので、敢えて「垣間見る」と表現しました。しかし、本校生の前で熱く語られる福先生を見ていて、例えばニューヨークの美術館で、福先生と外国人のアーティストたちが一緒にバリバリ仕事をしている場面が、実際には目にしたこともないそんな場面が、確かに見えたような気がしました。

世界とつながっているホンモノに触れることができたような気がしました。そしてそのホンモノの凄さに心が躍りました。

夏休みは外に出て、ホンモノに触れる絶好のチャンスです。ホンモノの作品やホンモノの人物(変な表現だけど意図はわかってくれますよね?)との出逢いを求めて、美術館やオープンキャンパスへ足を運んでみてはどうでしょうか?

進路を考えるとということに関して言えば、「この先生から学びたいからこの学校を選んだ!」という選択も十分ホンモノだと信じています。
(進路指導部)



いざというときにだれもが自信をもって AEDを使えるために

7月6日（水）13時30分から南館1階デッサン室で、7つの運動部、14の文化部、4つの同好会から部員48名が参加して、住之江消防署員の方の指導でAED講習を受講しました。

5班に分かれ、ビデオによる説明の後に、実際に心肺蘇生の手順を人形で説明され、AEDの使い方を学びました。

生徒は、最初、人前なので恥ずかしそうにしていたのですが、後半になると声もしっかりかけ出し、胸骨圧迫もみんな上手にできるようになりました。

最後に、熱中症の症状やその予防、応急手当てについて話を聞き、これからの夏季活動に備えて頑張ってもらいたいという励ましの言葉をいただき講習を終えました。（保健部）



平成23年度第1回学校説明会を開催



7月9日（土）に南館を説明会場として開催しました。参加者は中学生、保護者、中学校の先生をあわせて310名余りでした。

当日は、南館での説明に引き続き、授業見学ツアーを行い、3年生の卒業制作の授業を見学していただきました。中学生はガラスや織りなどの制作を見るのは初めての人も多く、制作している本校生に質問したりして興味津々の様子でした。

また、100名を超える本校生がスタッフとして参加し、説明会の司会や授業見学ツアーの引率。「生徒さんが親切に声をかけてく

れた。」「先生と生徒が仲良くしている様子を見て安心した。こんな学校に行きたいと思った。」など大変嬉しい感想を寄せていただきました。（広報委員会）

公募展がんばりました

- 2011年度第1回高校生対象デザインコンクール（主催 学校法人 大原学園）で、3年生の新堂慧さんが入賞し、同マンガコンクールで、3年生の別府雅子さんが最優秀賞を受賞しました。
- 第1回ヒコ・みづのジュエリーデザインアワード（主催 学校法人 水野学園専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ）で、3年生の山下華鈴さんが佳作に入選しました。
- 第4回高校生アニメフェア（主催 NPO法人 学校マルチメディアネットワーク支援センター）ボイスアクト部門で、3年生の加納真菜さんが優秀賞を受賞しました。
- 全国高校生デザイン画コンクール(主催 学校法人 福富学園神戸ファッション専門学校)で、3年生の吉田奈津美さんが入賞しました。 （総合造形科）